

安城市の財務状況把握の結果概要

(H31.1.9 財務省 東海財務局)

総合評価

平成29年度



今後の見通し(平成32年度)

債務償還能力 → 問題ない

資金繰り状況 → 問題ない

債務償還能力 → 問題ない

資金繰り状況 → 問題ない

財務指標

指標	① 実質債務月収倍率 ($\frac{\text{実質債務}}{\text{行政経常収入} \div 12}$)	② 債務償還可能年数 ($\frac{\text{実質債務}}{\text{行政経常収支}}$)	③ 行政経常収支率 ($\frac{\text{行政経常収支}}{\text{行政経常収入}}$)	④ 積立金等月収倍率 ($\frac{\text{積立金等残高}}{\text{行政経常収入} \div 12}$)
問題なし	▲2.4月 ↓ 0.9月	0.0年 ↓ 0.7年	19.1% ↓ 10.5%	6.3月 ↓ 3.0月
	18.0月	15.0年	10.0%	3.0月
注意	24.0月		0.0%	1.0月

債務償還能力

資金繰り状況

留意点

○「幸せつながる健幸都市 安城」の実現に向けて

貴市は、将来の少子高齢化に備え、「健幸都市推進プロジェクト」を重点戦略として第8次安城市総合計画(平成28年度(2016年度)～平成35年度(2023年度))を策定し、各種施策を推進しているところである。

平成29年度まで実質的に無借金の状況となっており、健全財政を維持しつつ、上記計画のまちづくり施策の一環として、南明治土地区画整理事業や官民協働による中心市街地拠点施設(アンフォーレ)整備事業等の大規模建設事業を実施してきた。

また、現在は、榎前地区工業団地への企業誘致に加え、「がんばる中小企業活性化事業」や、デンパーク、安城七夕まつり及びソフトボール専用球場等を活用した「観光×健康×スポーツ 地域資源を最大限に活用したまちのにぎわいの創出」等を実施し、ものづくり産業の強みを伸ばしつつ、産業の多様化に向けた取組を行うことによって、地域経済の拡大及び市民の健康寿命の延伸を図っている。

今後においても、多様な主体との連携・協働によって上記取組等を着実に推進し、貴市の特性に応じた経済基盤の更なる強化及び快適で魅力ある生活環境の整備を図ることによって、健全財政を堅持しつつ、「幸せつながる健幸都市 安城」の実現に努められたい。

○公共施設等管理について

貴市は人口増加に伴って公共建築物及びインフラ施設(以下「公共施設等」という。)の整備を一齐に進めてきたことから、「安城市公共施設等総合管理計画」(平成29年3月)によると、現在、公共建築物のうち、半数以上が築30年を経過しているなど、老朽化の進行が課題となっている。

したがって、安城市公共施設等総合管理計画に基づき、個別施設計画を策定することにより、公共施設等の計画的な予防保全・長寿命化の取組を着実に実施し、財政負担の軽減・平準化を図ることなどによって、持続可能で安定的な財政運営に資する総合的かつ計画的な公共施設等管理を推進されたい。

<参考>類似団体等との指標比較(平成28年度決算)

【実質債務月収倍率】

安城市 : ▲2.4月
類似団体平均: 10.1月
愛知県平均: 5.8月
全国平均 : 8.2月

【債務償還可能年数】

安城市 : 0.0年
類似団体平均: 6.8年
愛知県平均: 5.7年
全国平均 : 7.4年

【行政経常収支率】

安城市 : 16.3%
類似団体平均: 13.2%
愛知県平均: 12.5%
全国平均 : 12.7%

【積立金等月収倍率】

安城市 : 6.3月
類似団体平均: 3.9月
愛知県平均: 4.9月
全国平均 : 7.5月